

社会貢献活動の推進



マテリアリティの中長期ビジョン

	リスク	機会	対応の方向性
長期	<ul style="list-style-type: none"> ●異常気象などによる大規模災害の増加 ●経済発展の格差、不平等 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時協力協定のさらなる拡大と災害時の速やかな支援体制の整備によるくらしの安心・安全の支援 ●地域のニーズに即した活動の継続による地域社会発展への寄与 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害発生時に電動車を速やかに提供し得る体制整備 ●従業員一人ひとりの技術・ノウハウおよび製品を活用し、地域社会の発展に継続的に取り組む
	外部環境	ステークホルダーのニーズや期待	中期目標
中期	<ul style="list-style-type: none"> ●極端な気象現象による熱波や干ばつ、大雨による洪水などの災害が世界各地で相次ぎ発生 	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急時災害支援および復興支援の期待 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時協力協定の締結推進 ●「STEP」の分野で従業員一人ひとりの技術・ノウハウおよび製品を活用した社会貢献活動に継続的に取り組む

マテリアリティの2020年度目標と実績

○：計画通り △：遅れあり

主な取り組み内容	2020年度目標	指標	2020年度実績	自己評価
社会課題や地域ニーズに即した、継続的な活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●社会貢献活動方針の見直し ●ロゴマークを活用した情報発信の強化 	—	<ul style="list-style-type: none"> ●新・社会貢献活動方針の策定、対外発表 ●ロゴマークを活用したグローバルな情報発信の実施 	○

基本的な考え方・方針

2020年4月、三菱自動車のビジョン・ミッションにもとづき、新・社会貢献活動方針を策定しました。当社プラグインハイブリッド車（PHEV）の特長を活用した災害時協力協定締結など、方針に即した活動を推進しています。

また、より多くの方に本活動を知っていただくため、ロゴマークを活用したグローバルな情報発信をしていきます。

社会貢献活動方針

三菱自動車は、「STEP」『地域社会 (Society)』『交通安全 (Traffic safety)』『環境 (Environment)』『人 (People)』の分野で、多様化する社会の課題に応えるため、従業員ひとりひとりの持つ技術やノウハウ・製品を活用した継続的な社会貢献に取り組むことで、よりよい未来を描くことができる社会をめざします。

- 地域社会 - Society**
 地域のニーズに即した活動を通じ、地域社会の発展に貢献します。
- 交通安全 - Traffic safety**
 交通社会の安心・安全の実現に貢献します。
- 環境 - Environment**
 大切な地球環境の保全に貢献します。
- 人 - People**
 人々に寄り添い、笑顔あふれる生活の実現に貢献します。



社会貢献活動ロゴマーク

STEPの分野の活動の輪が中心から広がる様子を表現しています。



2020年度の社会貢献支出額・内訳(※1) (単位:百万円)

地域社会	17
交通安全	6
環境	5
人	175
被災地・新型コロナウイルス感染症対策支援	57
支出額合計	259

※1: 寄付金のほか、現物給付・施設開放などを金額換算したものを含む

2020年度の社会貢献活動参加人数と活動時間(※2)

従業員参加人数	延べ9,426人
従業員活動時間	6,330時間

※2: 就業時間内の活動

地域社会 (Society)

DENDOコミュニティサポートプログラム

災害時協力協定や新型コロナワクチン巡回接種用車両の貸与など、自ら発電し、その電力を取り出して使うことができる「三菱のPHEV」を活用した自治体への支援活動を行っています。

「PHEVの走るチカラと電気のチカラ」で、皆様のくらしの安心・安全を支えます。

詳細は、P19特集ページをご参照ください。

障がい者の就労支援活動

障がい者福祉施設へ工場周辺緑地の草刈り作業を2012年から毎年(年4回)委託する他、就労に向けた技術取得を目指す障がい者が製造したパンなどを事業所内で定期的に販売しています。

また、障がい者が古紙やプラスチック製品の回収・破砕作業などを行う社会福祉法人へ、就労支援の一助として工場内で回収したペットボトルキャップをお届けしました。



工場周辺の草刈り作業



リサイクルのため破砕作業されるペットボトルキャップ

マsproダクツ型排水ポンプ実証試験へ参加

排水施設で使用するポンプの動力源として、量産エンジン(マsproダクツ)である『デリカD:5』用ディーゼルエンジンの活用を目指した国土交通省の実証試験に参加しています。

全国に設置される排水施設は、老朽化により、今後、設備の一斉更新が見込まれます。また、近年の水害被害を受けて、さらなる排水施設の新設・増設の要望が高まる中、設置するためのコスト削減が課題となっています。量産エンジンを活用することでコストを縮減しながら、効率的に排水施設の更新を行う手法や技術開発を検討し、皆様のくらしの安心・安全につながることを目指していきます。



実証試験共同実施の調印式

交通安全 (Traffic safety)

事業所地域における交通安全活動

事業所周辺道路において、社員による通勤・通学時間帯の交通安全立哨や、地域の交通安全協会および警察署連携のもと実施するパトロール隊へ参加しています。パトロール隊の活動では、交通安全の呼びかけの他、広報車による地域巡回や、事故が発生しやすい危険な場所の確認、交通安全施設の点検、道路への足形設置などを実施しています。

2020年度は各事業所合計で、20回、延べ283人が活動に参加しました。



横断歩道での交通安全の呼びかけ
(岡崎) 足形の設置(滋賀)

子ども向け交通安全啓発

ウェブサイト「みんな知ってる?交通安全クイズ」

小学生向けの自動車産業学習用ウェブサイト「なぜ?なぜ?クルマづくり調査団」内に、交通安全に関するページを設け、歩行中や自転車乗車中など、日常生活における交通ルールやマナーをクイズ形式で紹介しています。



「みんな知ってる?交通安全クイズ」

(WEB) <https://www.mitsubishi-motors.com/jp/sustainability/contribution/people/kids/anzen/>

環境 (Environment)

森林保全活動

首都圏の水源を守るとともに社員の環境意識を醸成することを目的に、公益財団法人オイスカと協働し、山梨県早川町において、森林保全やボランティア活動を通じた地域との交流に取り組んでいます。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、社員によるボランティア活動は中止しましたが、苗木が育つために必要な下草刈りの作業は実施しました。



植樹したエリアの下草刈り

プラグインハイブリッド車(PHEV)でイルミネーションを点灯

2020年12月、平安女学院大学で行われたイルミネーション点灯イベント「アグネスイルミネーション2020」に『アウトランダー PHEV』を提供しました。

イベントコンセプト「100%再エネ電力によるイルミネーション点灯」の実現のため、太陽光で発電した電力で充電した『アウトランダー PHEV』からイルミネーション全体に給電しました。



PHEVから給電したイルミネーション

人 (People)

小中高生への教育支援

次世代を担う子どもたちへの教育支援として、社員が小学校を訪問して授業をする体験授業プログラムや、中高生が将来について考え、視野を広げるためのキャリア教育学習を実施しています。

2020年度はコロナ禍により、リモートでの実施も開始し、39校、3,053人が受講しました。



リモートで生徒の作品を発表



インパクトドライバーを使用した「ねじ締め作業体験」

アジアにおける教育支援

現地の関係会社では、経済的な理由で学ぶことを諦めてしまわないよう、中・高生や大学生への奨学金寄付、孤児院などへの学習ツールの寄贈を行う他、自動車業界における質の高い人材育成を支援するため、教材車両の寄贈やインターンシップの受け入れなどを実施しています。

ベトナムで8大学に教材車両を寄贈

ミツビシ・モーターズ・ベトナム・カンパニー・リミテッド(MMV)は、将来を担う若い世代の教育支援と共に、大学とビジネスをこれまで以上に結びつけ、学生の就職や経



験者を求める企業の採用活動への貢献を目的に2020年10月、ベトナムホーチミン市とビンズオン州にある8大学に、試作車の寄贈を開始することを発表しました。寄贈した試作車は、自動車技術や運転技術を学ぶ教材とする他、車両組立など実践的な演習にも役立てられます。



教材車両として寄贈した試作車

マレーシアで福祉活動を行うサッカークラブへ寄付

ミツビシ・モーターズ・マレーシア (MMM) は2020年11月、低所得世帯の子どもたちが薬物や犯罪に巻き込まれないよう、活気に満ちた生活を送ることを目的に福祉活動を行うサッカークラブ「ファースト・インターナショナル・サッカー・アカデミー (FISA)」へ約35,000リンギ (約92万円) を寄付しました。



福祉活動を行うサッカークラブ (FISA)

「三菱自動車STEP募金」および「マッチングギフト」の実施

2009年4月に導入した「三菱自動車STEP募金」は、三菱自動車グループの社員が自らの意志で毎月、定額を募金し、継続的に社会貢献活動に参加する仕組みです。この募金は、三菱自動車の社会貢献活動方針にもとづき、開発途上国や東日本大震災被災地における活動などを支援しています。また、「三菱自動車STEP募金」が行った寄付に対し、会社が同額を寄付する「マッチングギフト」も実施しています。



支援先

- 国際NGOワールド・ビジョン・ジャパン
- 公益財団法人オイスカ
- 公益財団法人みちのく未来基金
- 事業所近隣の幼稚園、保育園、小学校など

「森の積み木」プロジェクト

子どもたちが木の温もりを感じ、創造性を働かせて遊べることを目的に、当社が森林保全活動を行う山梨県早川町を中心に同県のヒノキの間伐材で作った積み木を幼稚園、保育園などに寄贈しています。

また、社員自身が縁のある幼稚園などへ積み木を贈る「社員プレゼンター制度」を実施しています。

2020年度は60カ所、2010年から累計405カ所に寄贈しました。



ヒノキの間伐材で作った積み木



被災地支援

アジアにおける支援

2021年1月、インドネシアでは複数の地域で地震、洪水、豪雨による地滑りなどの自然災害が発生しました。

三菱自動車・モーターズ・クラマ・ユダ・セールス・インドネシア (MMKSI) は、『アウトランダー PHEV』の給電機能を被災地の照明電源として活用する他、『トライトン』を住民の避難に使用するなど、現地の支援団体と協力し支援活動を行いました。



Courtesy of Palang Merah Indonesia

PHEVの給電機能を活用



Courtesy of Aksi Cepat Tanggap Indonesia

被災地に駆けつけた『トライトン』

日本における支援

三菱自動車では東日本大震災直後から被災地のニーズに耳を傾け、本業を生かした支援や日常の中で支援する仕組みをつくり、「忘れない・つながり続ける」をテーマに継続して支援を行っています。また、自然災害などの緊急事態に際しては、義援金の拠出、車両の無償貸与や社員によるボランティアなど、様々な支援を行っています。

2020年度は、災害時協力協定にもとづき、「令和3年豪雪」により大規模停電が発生した秋田市内の避難所へ『アウトランダー PHEV』および『エクリプス クロス (PHEVモデル)』を貸し出し、テレビや照明、ストーブなどの電気製品への給電に利用いただきました。今後も災害発生時の速やかな支援活動を継続していきます。



プラグインハイブリッド車 (PHEV) から避難所へ給電

新型コロナウイルス感染症対策支援

当社の各事業所にてフェイスシールドを生産し、自治体や医療機関などに寄贈する他、「知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」に参画し、世界保健機関 (WHO) が新型コロナウイルス感染症まん延の終結宣言を行うまでの間、終結を目的とした行為に対し、当社が保有する特許権・実用新案権・意匠権・著作権の権利行使を行わないことを宣言しています。

また、海外の関係会社では公共施設にポータブルハンドウォッシュステーションの設置、孤児院へコロナ禍のオンライン学習ツールとしてパソコンや周辺機器の寄贈、コロナ禍による貧困家庭への食料輸送協力などの支援を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた支援を続けていきます。

新型コロナワクチン接種支援車両については、P19特集ページをご参照ください。



パソコンやインターネット環境一式を提供 (インドネシア)



ハンドウォッシュステーションを設置 (インドネシア)

◆新型コロナウイルス感染症対策への支援

<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/sustainability/contribution/society/relief/covid-19/>



2020年度の主な支援 (自然災害および新型コロナウイルス感染症対策)

	支援内容		支援先
2021年2月	新型コロナウイルス感染症	オンライン学習用ノートパソコン10台を寄贈	非営利法人Pertubuhan Kebajikan Yesuwin Mahligai Selangor(PKYMS)
	インドネシア洪水	Aksi Cepat Tanggap (ACT) チームと協力し、『トライトン』1台を貸出	西スラウェシ州マジェネ地区
2021年1月	マレーシア北東モンスーン	支援金約23,000リンギ	Triton Tuners Club Malaysia
	令和3年豪雪	『アウトランダー PHEV』1台、『エクリプス クロス (PHEVモデル)』1台を貸出	秋田市
	インドネシアスラウェシ島地震	インドネシア赤十字社と協力し、『アウトランダー PHEV』1台を貸出	西スラウェシ州マムジュ地区、マジェネ地区
	インドネシア 豪雨による地滑り	United Volunteer Otomotif (UVO) Peduliと協力し、『トライトン』1台を貸出	西ジャワ島ブンチャック/グヌンマス地域
2020年12月	新型コロナウイルス感染症	・パソコン、プリンター、プロジェクター、インターネットデータプラン1年分などのオンライン学習ツール30セットを寄贈 ・マスク、衣類、本、おもちゃなどを寄贈	インドネシア ジャカルタ周辺地域の10の孤児院
		NPO 法人Comedor Santa Mariaによる食料配送支援として『L200』を貸出	メキシコ コアウイラ州、ヌエボレオン州、オアハカ州、ユカタン州、グアナファト州
2020年11月	メキシコハリケーン「エータ (ETA)」災害	・『L200』1台を貸出 ・食料品などの物資を支援	メキシコ タバスコ州
2020年9月	新型コロナウイルス感染症	ポータブルハンドウォッシュステーションを10カ所設置	インドネシア ジャカルタ首都特別州内の病院、公園など
		・マスク5000枚を寄贈 ・食料品 (米・食用油、缶詰食品など) 100セットを寄贈	インドネシア ジャカルタ首都特別州内の孤児院
		教職員向けにPPE (個人防護服) を配布	アメリカ テネシー州コミュニティリソースセンター
2020年7月	令和2年7月豪雨	義援金300万円	日本赤十字社
		『アウトランダー PHEV』5台、『eKスペース』5台を貸出	熊本県人吉市、球磨村
2020年6月	新型コロナウイルス感染症	『パジェロスポーツ』『トライトン』計8台を貸出	オーストラリア ニューサウスウェールズ州、ビクトリア州、クイーンズランド州、キャンベラ市
2020年5月	新型コロナウイルス感染症	『eKクロス スペース』1台を貸出	岡山県総社市
		知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言に参画	—
		・『アウトランダー PHEV』1台を貸出 ・医療用N95マスクを寄贈	インドネシア赤十字社
		休憩用ベンチ50台、ウォータータンク200個、フェイスシールド400個を寄贈	フィリピン ラグーナ州サンタローザ市
2020年4月	新型コロナウイルス感染症	自社製フェイスシールドを寄贈	愛知県岡崎市、岐阜県坂祝町、京都府、岡山県、近隣医療機関など
		日東電工株式会社現地法人「Nitto Denko Philippines Corporation」と共同で、マスクの材料となる同社製フィルターろ材500メートルを寄贈	フィリピン貿易産業省
		『L300』4台を貸出	フィリピン運輸省、フィリピン ラグーナ州サンタローザ市
		義援金 30億ドン	ベトナム祖国戦線中央委員会
		『L300』5台を寄贈	インドネシア赤十字社
		『アウトランダー PHEV』1台を寄贈 人工呼吸器、防護服、マスクを寄贈	アメリカ テネシー州 コミュニティリソースセンター タイ医療機関